



### 3. 活動内容

#### (1) 1年間の主な活動

##### ① 環境教育

(ねらい)

- ・ 学校や地域の公共施設や自然環境の清掃・美化活動などの体験を通して、人々とかかわり、地域を大切に思う心を育てる。
- ・ 身近な環境から課題を見つけ、調査や体験活動を通して理解を深め、自分たちにできることを見つけて取り組む。

【栽培活動、きらきら活動、愛校デー、アルミ缶回収等】

- ・ 一人一鉢活動や地域と連携した栽培活動（芝桜植え）を行い、全校で季節の花を育てた。
- ・ 地域に出向いて清掃活動を行ったり、花のプランターを設置したりする「きらきら活動」を行った。
- ・ リサイクル運動に取り組むなどして、環境を維持、保存する意識を高めた。



(地域と連携した芝桜植え)



(垣生海岸の清掃)



(アルミ缶回収)

##### ② 人権教育

(ねらい)

- ・ 縦割り班活動やなかま集会を通して仲間意識の深化を図るとともに、コミュニケーション能力を育てる。
- ・ 平和学習や講演会等を通して、命の大切さや人権について学び、自尊感情を高め、自分も友達も大切にする心情を育てる。

【縦割り班活動、なかま集会、人権の花運動、人権・同和教育講演会、平和学習等】

- ・ 運動会での浮小リレー、縦割り班給食、縦割り班での遊びや長縄跳びを行った。
- ・ なかま集会では、浮小なかま宣言や学級旗の発表や人権劇を見て学級ごとに話し合いを行い、友達を大切にする気持ちを高めた。
- ・ 人権啓発活動ネットワーク協議会と連携し、4～6年生が人権メッセージを書いたプランターにパンジーの花の苗を植えたり、愛媛 FC の選手との交流を行ったりした。
- ・ 外部講師を招聘して、「人権・同和教育講演会」を開催し、全校児童が保護者とともに話を聞き、命について学ぶ機会とした。
- ・ 6年生の総合的な学習の時間「平和学習」のまとめを、校区文化祭に展示し、地域へ発信した。



(運動会 浮小リレー)



(なかま集会 学級旗発表)



(人権の花運動)

### ③ 防災教育

(ねらい)

- ・ 地震・津波の発生時に、速やかに安全に避難できる能力や態度を養い、その場に応じた行動が実践できるようにする。
- ・ 地震・津波の災害について知り、自分たちにできることを考え、実践できるようにする。

【避難訓練、児童引き渡し訓練、防災参観日等】

- ・ 特別支援学級の児童等、配慮を要する児童の支援体制を確立していった。
- ・ 保護者・地域と連携しながら、児童引き渡し訓練を、運動会の昼休み時に実施した。
- ・ 様々な状況を設定した避難訓練を実施した。
- ・ 11月には、「防災参観日」を実施し、各学年の発達段階に応じた防災に関する授業を行った。家庭や地域への防災意識の啓発に役立った。
- ・ 3月11日を「防災について考える日」とし、校内に保管している備蓄米や水を家庭に持ち帰り、家族で話し合った。
- ・ 総合的な学習の時間で、地震に備えてできることを調べてまとめたり、自分の考えや思いを伝えたりした。



(肢体不自由児の支援体制)



(防災参観日)



(防災について考える日)

### ④ 成果と課題

- ・ 公共施設の清掃や芝桜植えの活動を通して、地域の人々との交流を深めながら、地域の環境を大切にする心を育てることができた。
- ・ 縦割り班活動では、コミュニケーションを図りながら、高学年が低学年を上手にリードしていた。そして、児童一人一人が、互いに認め支え合い協力しながら活動することができた。
- ・ 様々な状況を設定した避難訓練を行うことによって、自ら考え動くことの大切さを児童に認識させることができた。
- ・ 環境・防災学習においては、児童自らが、課題を見つけ解決し実践すると

いう意識を高めさせなければならない。

- ・ ESDのねらいをしっかりととらえた実践を積み重ねると共に、各教科等と関連付けた指導計画の見直しが必要である。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）